

悪徳雑誌（ハゲタカジャーナル）への注意喚起

オープンアクセスジャーナルの増加とともに、十分な査読を経ず論文掲載料を得ることを目的とした悪徳雑誌（ハゲタカジャーナル）の増加が問題になっています。

著者にとっては自身や所属研究機関の評価・信頼が損なわれる、高額な掲載料を請求される、掲載後に悪徳雑誌であると気づいても、論文の撤回が認められず他の雑誌へ再投稿することができなくなる、論文への安定したアクセスが保証されておらず、突然閲覧できなくなる可能性がある、等のトラブルが想定されます。またこのような出版社は、「有名な学術誌と酷似したロゴや名称を使用する」など、見極めが難しく、研究者に直接メールで投稿を促すというケースも発生しています。

論文の投稿先を検討する際には、以下のサイトを参照ください。

ODOAJ(Directory of Open Access Journals) <https://doaj.org/>
健全とされているオープンアクセスジャーナルがまとめられています。

○Think Check Submit <https://thinkchecksubmit.org/>
ハゲタカジャーナルかどうかをチェックするためのポイントが掲載されています。

【参考】京都大学図書館機構 <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/form/1380548>